



毎月5日は「市民防災の日」
千葉県・いすみ市共同主催

いすみ市防災かわら版
平成 28 年 8 月発行 (No.29)

土砂災害避難訓練が実施されました！



避難者受付の様子【古沢小学校体育館】

訓練対象地域は岬地域の古沢地区

市内で指定されている「土砂災害警戒区域」は **229 箇所**と、県内でも **2 番目**に多く、過去にもがけ崩れによる土砂災害が発生し大きな被害を受けています。市では土砂災害から命を守るために、土砂災害避難訓練を毎年実施しています。

訓練の実施内容について

気象情報に基づいた災害対策本部の運営は、実戦さながらの訓練でした。

避難所では、古沢地区在住の方約**300名**が、自主防災組織や消防団等による避難誘導のもと、古沢小学校体育館へ避難し、避難経路の確認をしました。避難所内では、各団体による防災啓発や炊出し訓練等を実施。参加者の防災知識の習熟ができました。

訓練のアンケートでは、「防災に対する意識が高まり、参加してよかった。」といった回答が多く見られました。



炊出しの様子
【自衛隊、女性の会】



要配慮者の避難の様子
【消防団、女性の会】



災害対策本部の様子
【いすみ市職員】

訓練に参加しましょう！

11月5日(土)には津波避難訓練が実施されます。

災害が発生しても被害を最小限にできるよう、避難訓練へ積極的に参加して、防災意識を高めましょう。



左：災害用自動販売機の実演【伊藤園】
中央：応急処置法の説明【防災士会】
右：風呂敷によるリュックの作成【女性の会】

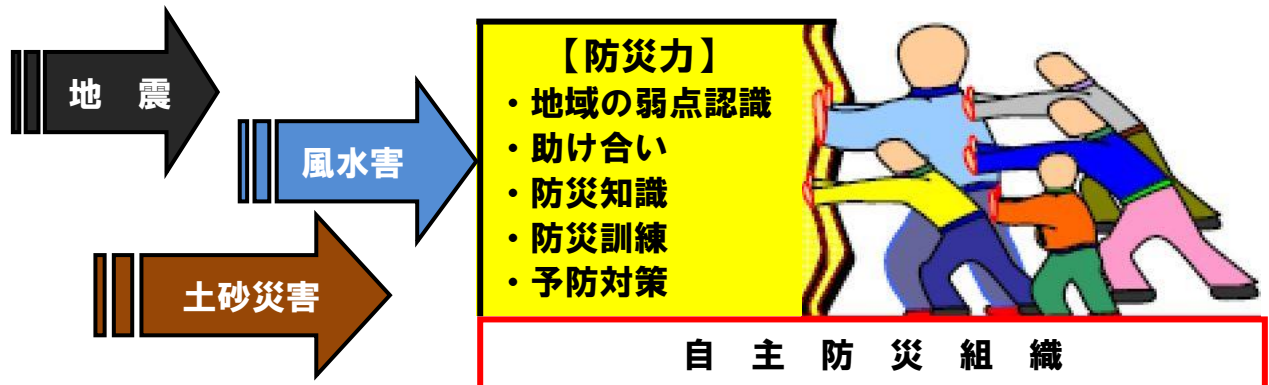


防災・減災の第一歩！

自主防災組織

自主防災組織とは

地域における助け合いによって「自分達の地域は自分たちで守る」という「共助」の精神に基づき、地震、風水害及び火災等の災害が発生、又は発生する恐れがある場合に被害を防止、軽減、予防するため、地域住民が自主的に結成し運営する組織を「自主防災組織」といいます。



自主防災組織を結成しましょう

災害が発生したとき、普段から生活環境を共有している、地域住民同士が相互に協力し合う「共助」が被害軽減のために、最も重要な行動となります。

自分達の地域を災害から守るため、災害についての知識や、避難所（場所）の把握など、普段からの取り組みが大きな効果へとつながります。

そのためにも、各地域で自主防災組織を結成し、災害に備えましょう。

自主防災組織の活動

平常時	災害時
◆防災知識の普及・啓発	◆情報の収集・伝達
◆防災資機材の整備	◆初期消火活動
◆防災環境の確認	◆避難誘導活動
◆防災訓練の実施	◆救出救護活動

いすみ市防災メールの登録はお済みですか？

いすみ市防災メールは、災害発生や災害状況について配信しています。

登録されていない方は、下記URLまたは右のQRコードより登録できますので、ぜひご登録ください。

<https://service.sugumail.com/isumi/member/>

